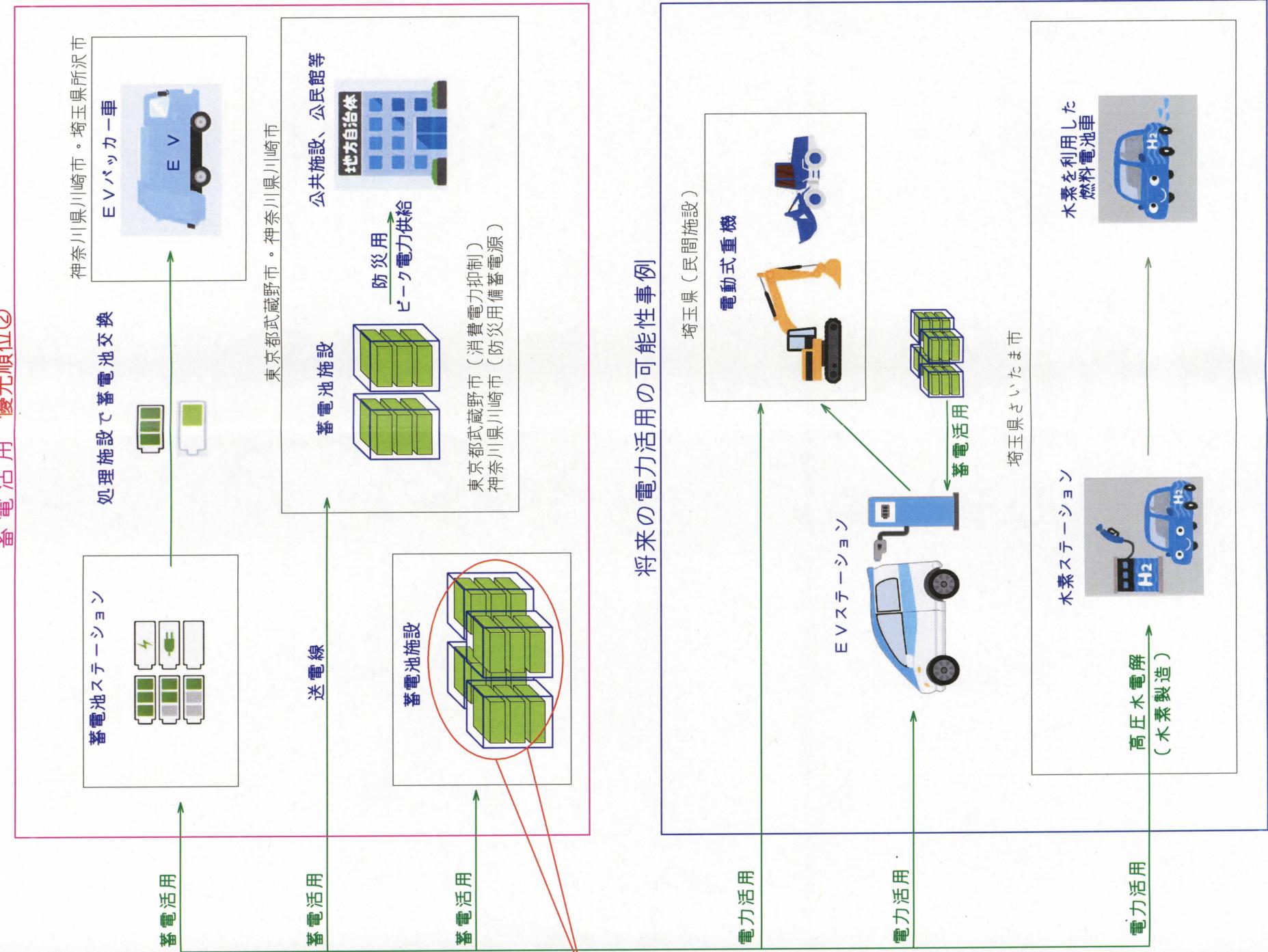
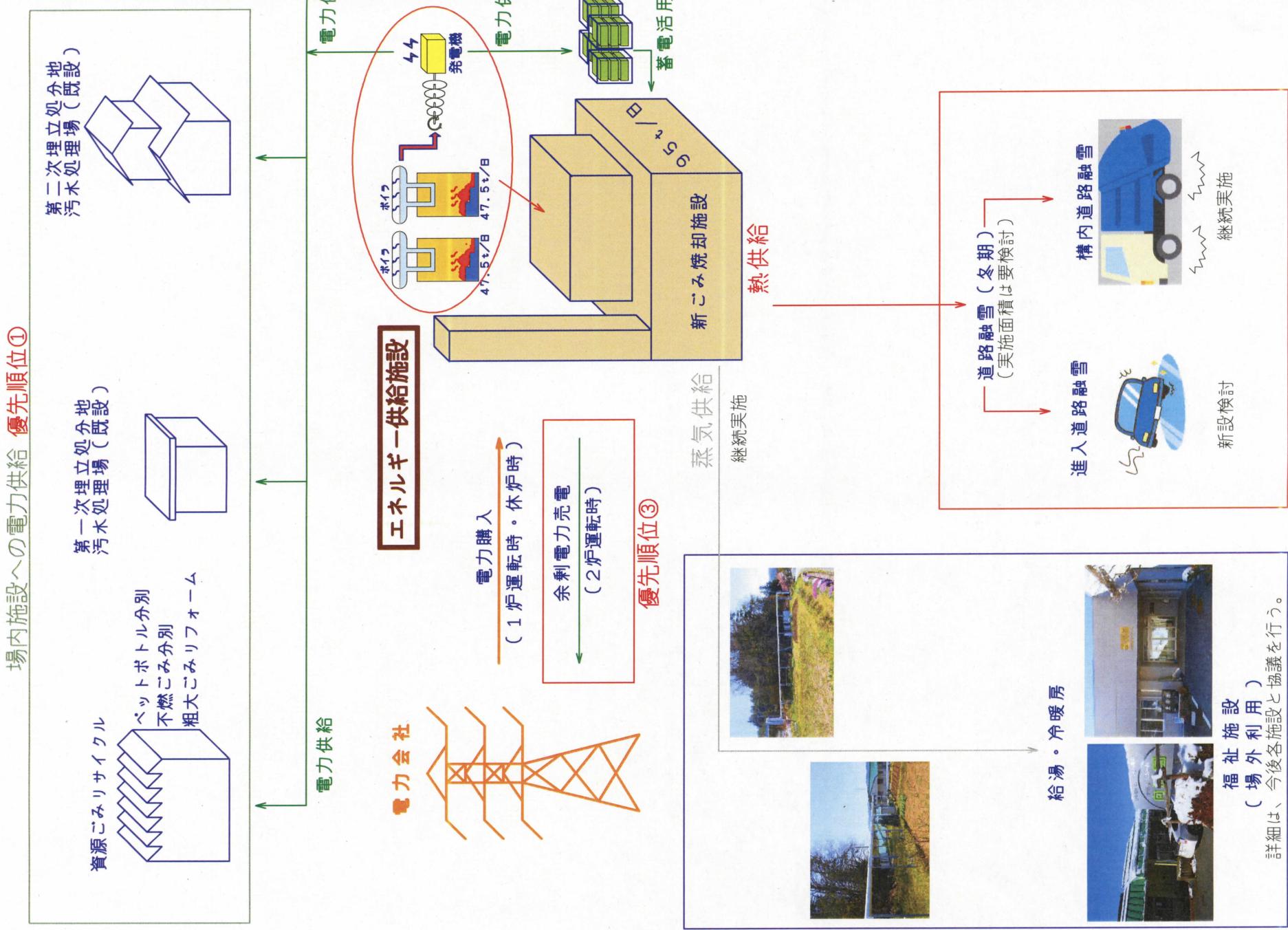


エネルギー回収・活用のイメージ



エネルギー回収概念図

【2炉稼動時】

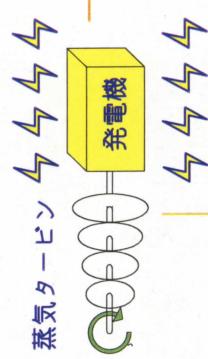
余熱熱量(1時間あたり)
ごみ発熱量 $9,000 \text{ MJ/h}$ (1t あたり)
 $9,000 \text{ MJ/h} \times 86\text{t}/24\text{h}$
 $= 32,200 \text{ MJ/h}$

発電に使える熱量B = (A-C)

発電設備
(発電効率20%)

① 夏期
B 24, 500MJ/h

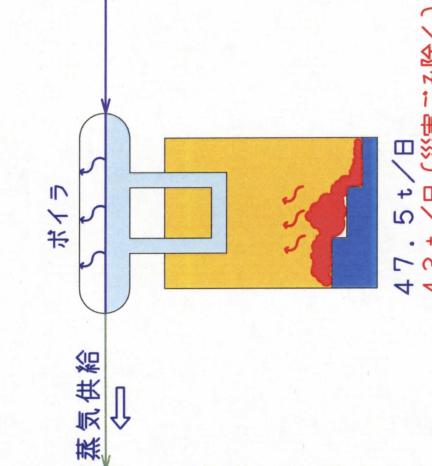
② 冬期
B 21, 900MJ/h



③ ポイラー熱回収量(85%)
27, 400MJ/h

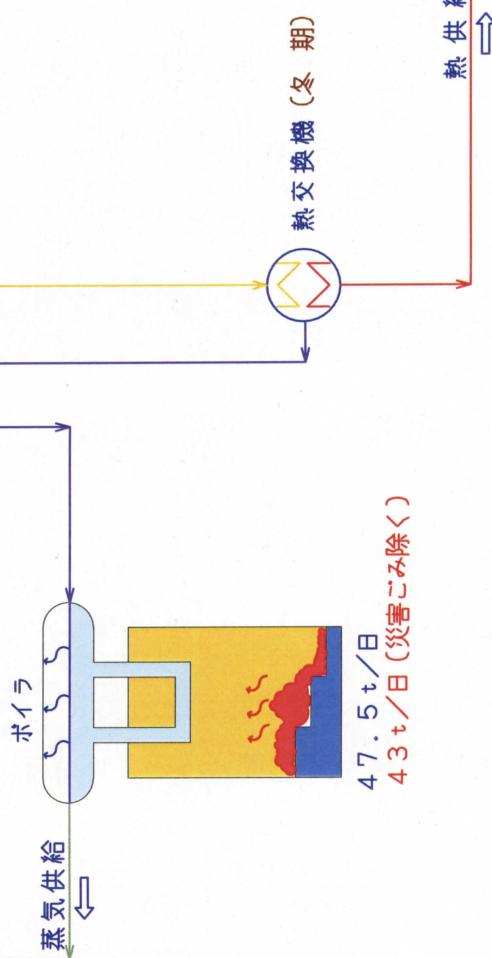
蒸気供給

蒸気供給



4.7. 5t/日
4.3t/日(災害ごみ除く)

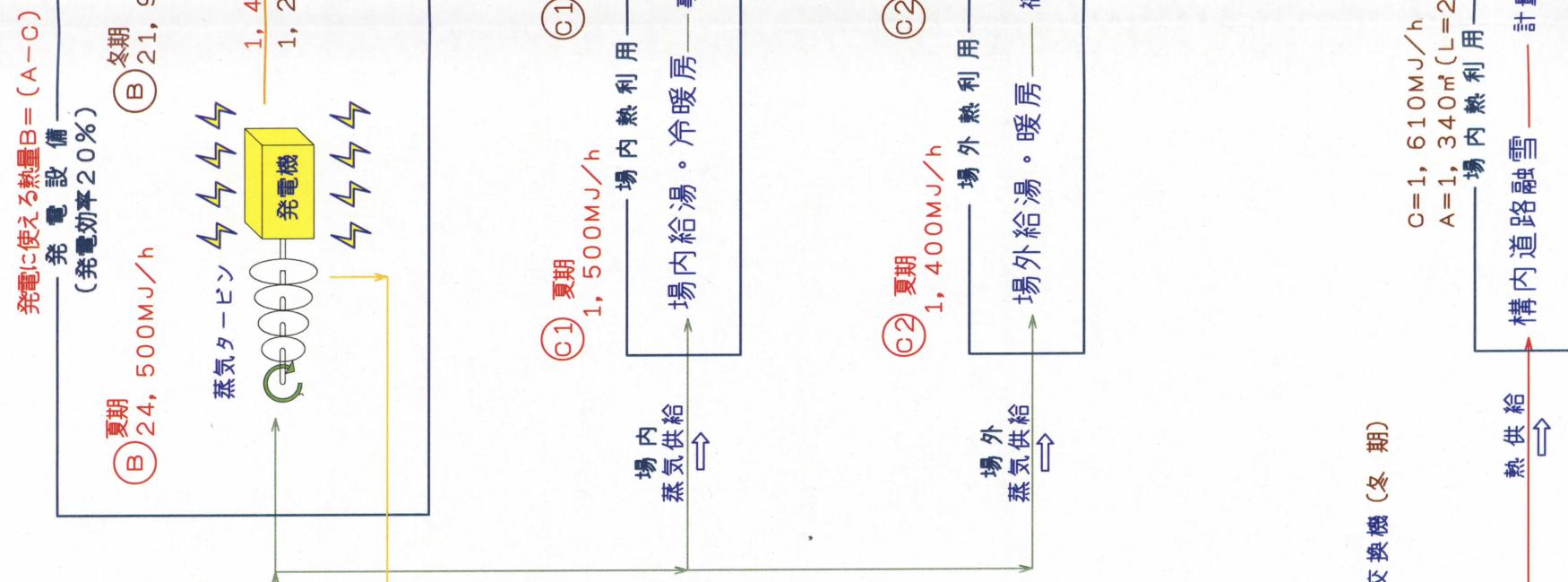
4.7. 5t/日
4.3t/日(災害ごみ除く)



4.7. 5t/日
4.3t/日(災害ごみ除く)

C=1, 610MJ/h
A=1, 340m³ (L=220m)

場内熱利用
構内道路融雪 ————— 計量機出入口ほか

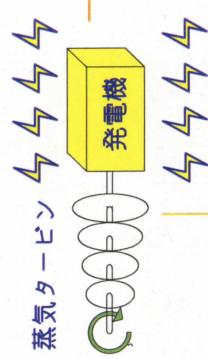


発電に使える熱量B = (A-C)

発電設備
(発電効率20%)

① 夏期
B 24, 500MJ/h

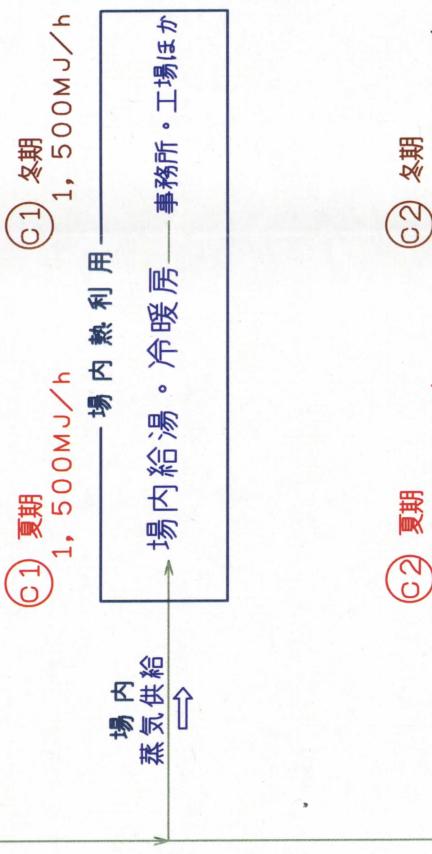
② 冬期
B 21, 900MJ/h



③ ポイラー熱回収量(85%)
27, 400MJ/h

蒸気供給

蒸気供給



エネルギー回収概念図

【1 炉稼動時】

発熱量 (1時間あたり)
ごみ発熱量 9,000MJ/h (1tあたり)
 $9,000 \text{ MJ/h} \times 43 \text{ t}/24 \text{ h}$
 $= 16,100 \text{ MJ/h}$

発電に使える熱量B = (A-C)

夏期 (B) 10,800MJ/h
冬期 (B) 8,200MJ/h

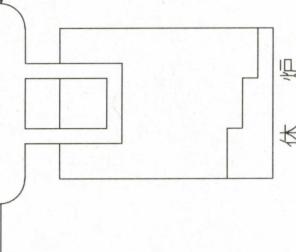
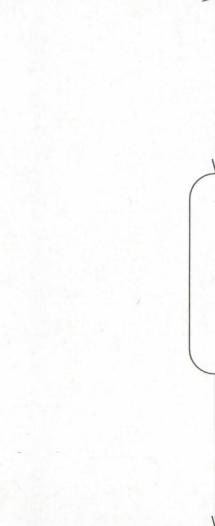
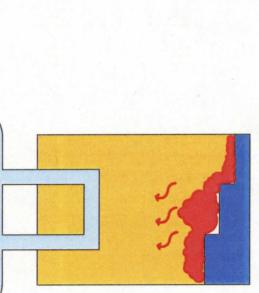
発電設備 (発電効率20%)

蒸気タービン
発電機
600kW/h
500kW/h

A ポイラ熱回収 (85%)

13,700MJ/h
蒸気供給

蒸気供給
→
→
→



休炉

47.5t/日 (災害ごみ除く)
43t/日

C1 夏期
1,500MJ/h
場内熱利用
→
→

C1 冬期
1,500MJ/h
場内熱利用
→
→

C2 夏期
1,400MJ/h
場外熱利用
→
→

C2 冬期
4,000MJ/h
場外熱利用
→
→



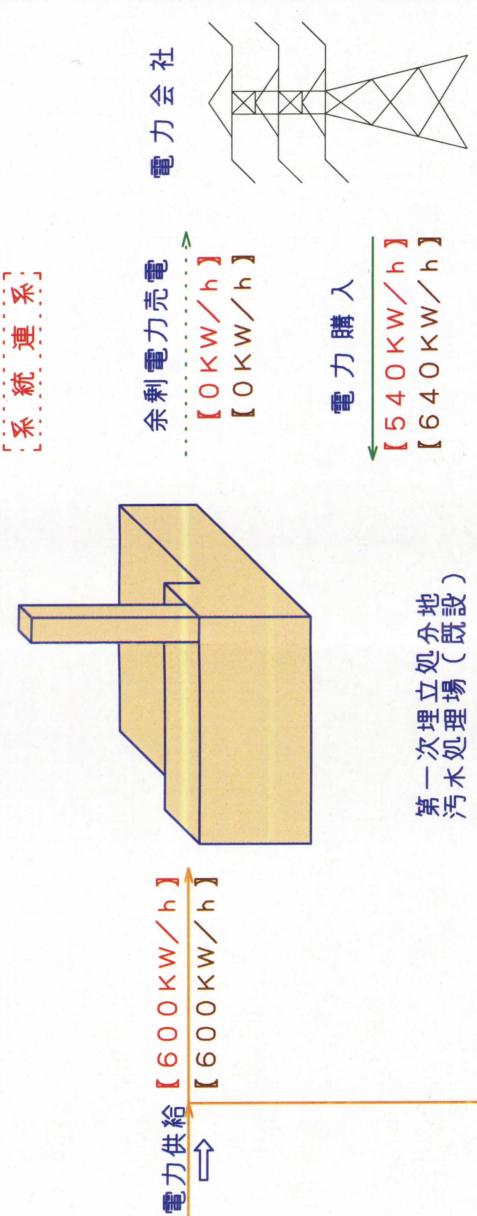
(C09機) 蒸機

C=800MJ/h
A=670m³ (L=110m)

場内熱利用
→
→

構内道路融雪 → 計量機出入口ほか

新ごみ焼却施設



第一次埋立処分地
汚木処理場 (既設)

第二次埋立処分地
汚木処理場 (既設)

資源ごみリサイクル場



EVごみ收集車充電
→
→

C=800MJ/h
A=670m³ (L=110m)

場内熱利用
→
→

構内道路融雪 → 計量機出入口ほか

600kW/h
600kW/h

540kW/h
640kW/h

100kW/h
100kW/h

40kW/h
40kW/h